

伝統文化の保護と観光開発—江南水郷古鎮を例に

陳来生(蘇州科技学院管理学院教授)

通訳：石曉軍

尊敬する皆様、こんにちは。今日は文化遺産と保護・保全のことについてお話させていただく機会をいただきまして、本当にありがとうございます。私の今日の報告のテーマは、「伝統文化の保全と観光開発」です。

中国では、悠久かつ豊富な文化遺産があり、たくさんの長い歴史を持つ遺産が存在しています。ところが今、1つの問題に直面しています。それは、景観保全の問題と開発問題とのジレンマ、板ばさみということです。数多くの歴史的な街、都市、すなわち中国で言うところの「歴史文化名勝古鎮」に対しては、歴史的な街の景観の保全と、地元の住民の生活改善のために行われる新しい開発や建設という矛盾が存在しています。

したがって、このような「歴史文化名勝古鎮」の景観の保全が当面の大きな課題となっています。

ただし、どのような方法でこれらの文化遺産を保護・保全するのか、ただ象徴的に現状を維持するのか、それとも積極的に保全の方法について研究し、市民たちに指導するのか、また、先人から伝えられてきたものとして、そのまま骨董として置いておくだけなのか、それとも文化活動をしながら、持続発展できる道を探し求めるのか。こういうような問題をたどりながら、私は今日のテーマである「伝統文化の保全と観光開発」という話を進めていきたいと思います。

中国における歴史的な古鎮

中国では、古い鎮が、たくさんあります。今の写真は安徽省の南の中の西遞古村という、世界文化遺産に指定されたところです(写真1)。今の写真は、同じく安徽省にある宏村という村ですが、同じく世界文化遺産に指定されたところです(写真2)。宏村の橋の写真です(写真3)。今の写真は、蘇州の近く、同里という退思園の写真です(写真4)。建築としては有形な文化遺産として指定されました。そこでは芝居が上演されています。この写真は、昆劇という中国で一番古い劇の1つで、無形文化遺産に指定されました(写真5)。以上、中国における古鎮の写真を通して清の古鎮の大体の様子がわかっていただけたでしょうか。



陳来生氏



写真1：西遞古村

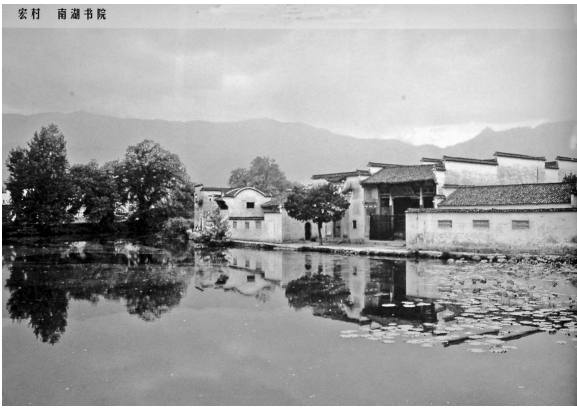


写真 2：宏村



写真 3：宏村の橋

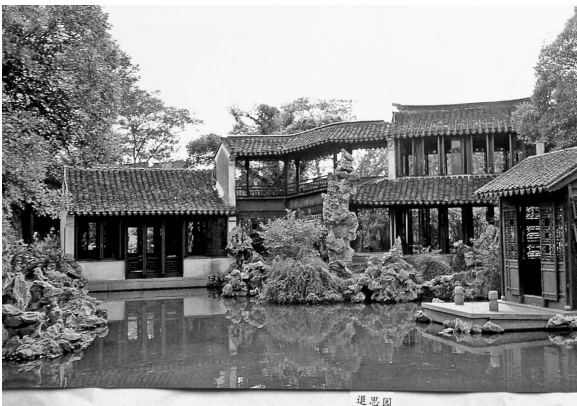


写真 4：退思園



写真 5：昆劇

江南水郷古鎮の研究価値について

これからの話は、主に江南地域の水郷古鎮を中心に話を進めていきたいと思えます。なぜ、この問題を取り上げるのかというと、江南地域の古鎮は、中国の鎮の中で一番代表的な水郷の鎮だからです。この江南水郷古鎮の研究価値については、いろいろな方面から考えられますが、その中で歴史的に形成してきた古鎮として、各地域の独特な歴史的な伝統や文化を備える民居、街道、建築物などが存在します。

特に江南地域の古鎮では、悠久の文化や歴史及び独特の水郷風景で、中国の多くの古鎮の中でもずば抜けています。江南の古鎮の魅力は、鎮を構成する川、つまり運河、橋、建築はもちろんのこと、江南地域という独特の地理的な環境、風土、経済、生活や人文的な要素によって形成してきた水郷文化全体にあります。

ところが、自然のおよび人為的な原因により、かつて江南地域に広く分布していた水郷古鎮は、現在一部だけが前のままの形で保存されているのみです。したがって、江南の古鎮についての研究および開発は、非常に重要な意味を持っていると言えます。

古鎮観光の必然性と合理性

江南の古鎮の観光と開発の関係について触れてみたいと思えます。文化遺産景観保護の基本的な原則は、秩序を持って合理的にそれら遺産を利用するということです。保護的な開発がなければ、開発

を持続させることはまず不可能です。したがって、合理的な開発の利用は、資金提供保障体制が良い軌道に乗る手助けとなります。つまり、財政的な支援体制を整え、同時に有効的な開発利用をすることが、現在では最大の課題であり、ひいては、文化遺産が文化の保持体として文化を伝播するという社会的機能を発揮するための手段となります。

今のところ、文化遺産開発と文化財をめぐる観光エリアの開発を同時に進行させるということは、中国を含め全世界の文化遺産開発利用の1つの一般的な形式となっています。したがって、開発利用をすること自身は何も問題がありません。一番重要なことは、いかに多角的に、しかも有効的に遺産を開発し利用するかということです。

江南の古鎮と申しますと、皆さんご存じかと思いますが、いろんな古鎮がございます。これはいずれもかけがえのない貴重な遺産です。言うまでもなく、その独特の様子と伝統文化を全面的に保全、保護しなければなりません。しかし、古鎮を保護すると同時に、住民の生活を改善し、社会経済を発展させなければなりません。古鎮の景観保全と地域の経済の発展を両立できる方法を探さなければいけないのです。

この方法の1つとして、何よりも観光産業が挙げられます。観光産業によって、古鎮の保護と観光資源の維持を兼ねることができます。今までの中国の観光業の発展で証明されたように、文化遺産資源の市場化開発は、経済発展という状況のもとでのリスクを最小限に抑えられる現実的な選択であることがわかりました。

蘇州の例を取り上げると、例えば、80年代の末、先ほど触れました退思園を修復したときに、当時は人民元で80万元もの投資をしましたが、これは大変なお金です。みんな少し心が痛かったのですが、今振り返ってみますと、当時の80万元の投資は賢明な決定だと思われれます。要するに、文化遺産という公共性を持つ資源について、保護と観光開発の発展のバランスをとれる持続発展可能な道を模索しなければならないのです。

観光開発に存在する問題

次に、江南水郷古鎮の観光開発に存在している問題について触れてみたいと思います。古鎮の観光は政治、経済の新しい発展に活力を与えましたが、一部の地域で古代建築や古代街道の歴史文化価値に対する認識がとても不足しています。多くの建築が壊されまして、あるいは経済利益だけを追求して、遺産の保護や観光の開発については、文化的な遺産に深刻なダメージを与えてしまいました。

1つ目は、空洞化による古鎮の特色ある情緒の損失です。つまり、多くの古鎮が景観保全という名目の下で、もともと古鎮に住んでいた住民たちを強制的に引っ越しさせたのです。2つ目は、地域住民の保護意識が希薄であるということです。各地域の一部の古鎮の民居が老朽化したため、生活に適していないというところがあります。そのため、一部の住民が勝手に住宅を建て直し、新しい建築材料を使用した結果、景観保全に大きなマイナスの影響を与えました。3つ目は、生態環境と文化環境を無視した汚染です。主に観光客がごみを所構わず投げ捨てます。それも水郷古鎮にとって大きな破壊の原因と言えます。4つ目は、観光客の大量殺到に伴い、水郷古鎮が本来持っている、飾り気なく人情の厚いものを捨て、一部の観光客の悪い趣味に応じて品性がないものを提供しているということが見られます。つまり、観光地における商業化傾向が強まり、観光商品として加工したものを提供しているということです。5つ目は、一部の古鎮のなかで街路に面している住宅は改造され、お店となっ

ていますが、このように、多くの特色ある古鎮が産業化によって現代的な都市の中で変貌させられたということです。

観光開発と保護

水郷古鎮の観光開発と保護、景観保全は、計画的に行わなければならないと思います。その具体的な原則としてはいくつかあります。1つ目は、景観保全という前提のもとで開発を行わなければならないということです。ビジネスのことばかり考えては大変危険です。2つ目は、協調、発展という原則です。つまり、経営者、観光客、住民の3つの方面の利益を同時に確保しなければならないと思います。

次に、全体の環境維持について触れてみたいと思います。古鎮の環境は、長い目で見れば、それが発展するためには、開発と同時に全体の環境を維持しなければならないと思います。その中で、いくつかの注意すべき事柄があります。1つは、全体的な生態系の保護システムを確立すること。2つ目は、観光客の人数をコントロールして環境を保護し、快適な観光環境を維持すること。3つ目は、ひとつの地域を中心に、江南の古鎮の構成要素を全体として全面的に保護すること。また、それら管理体制をしっかりとすることです。4つ目は、観光について独特な文化的内容のブランドを確立することです。江南水郷古鎮の地域的特質は、その歴史文化の蓄積であり、ゆえに開発と保護を行う際の核心部分のキーワードとして「文化」「古鎮」「水郷」が挙げられます。5つ目は、観光開発のメリットについて、住民たちに肌で感じさせること。つまり、地域参画体制をつくり、伝統文化保護の雰囲気形成することです。6つ目は、総合的な経営能力を向上させ、文化遺産を有効に保護することです。

以上、時間の関係で、これで終わらせていただきます。本当にありがとうございました。

(拍手)